

消火訓練

『特定防火対象物』という言葉をご存知でしょうか？ 特定防火対象物とは、消防法によるとデパートやホテルなど不特定多数の人が出入りする施設や、病院・老人保健施設、幼稚園・学校など収容人数が多く、火災が発生した場合に人命の危機が高い施設が該当するとあり、当院も『特定防火対象物』に定められています。この特定防火対象物に定められている施設では消火訓練を年2回以上実施しなければならないとされています。（消防法施行規則第3条第9項）当院では4月と10月に消火訓練を実施しており、今回の消火訓練は新入職員44名を対象に実施致しました。

訓練の内容は、消火器の基本構造と取扱い方法の説明、水が入った消火器を消火対象物に見立てた的にめがけて放水する模擬消火を行っております。消火器は粉末状の消火剤が入っており、一般的な火災だけではなく、油や電気が原因の火災における初期消火に非常に有効とされています。市や区などの自治体でも消火訓練や避難訓練を行なっていることもありますので、皆さまもいざ！という時のためにぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか。



3月15日、北海道大学病院医学部の学生さん3名がロビーコンサートにいらしてくださいました。ふきのとうコンサートと題してバイオリン、フルート、ピアノの爽やかな三重奏を披露していただき、ロビーにはとても優雅な時間が流れていたように感じました。素敵な演奏の中『ふるさと』を会場のみなさんで合唱したり、アンコールではバイオリンで『情熱大陸』を演奏していただいたりと盛りだくさんのコンサートとなりました。



編集後記 2014

真っ白に高く積もっていた雪も溶けてゆき、だんだんと春の暖かさがやってきました。関東方面では桜が咲き始め、お花見を楽しんでいるようですね。札幌も早く桜が咲かないかと待ち遠しい日々です。焼き肉やドライブ・スポーツなどなど、これからの時期が楽しみです!!

すべての
お問い合わせは

郵便 〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
札幌西円山病院 地域連携推進室内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい!

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

にしまるやま通信

NO.86 2014年
3,4月号

新院長あいさつ



医療法人溪仁会
札幌西円山病院 院長
浦 信 行

昨年11月に手稲溪仁会病院から異動し、当院で5ヶ月の病棟勤務を経験しました。異動までは、札幌医科大学第二内科での30年間、手稲溪仁会病院総合内科での6年間の勤務のいずれにおいても、ほとんど急性期の医療に携わってきました。そして、当院で初めて慢性期医療、高齢者医療に軸足を移しました。病棟勤務で多くのことを見聞き、実際の医療現場に直接かかわることが出来、そして各部門の専門性の高い医療に大きな満足を感じる事ができました。

これまで、医学生や若手医師と一緒に診療することが主体でしたが、私の信条は、医療人としての活動は日常診療を中心とし、教育、研究が加わった三位一体となつてはじめて、質の高い医療を供給できる、ということです。当院の病院理念である親切、丁寧、敬愛に裏打ちされた医療は、患者様の疾病療養に大きな支えになっていると思います。すなわち、実際の医療現場においては豊富な知識と高度な技術はもちろん必須のことですが、個々の患者様に向き合った、互いの顔が見える診療関係・信頼関係があつてこそ、真に求められる医療を提供することが出来ると考えています。実際に、専門的な研修や勉強を積み重ねて、心と知識と技術の三者の一つも欠けることなく一体となつて、より良質な医療を提供することを、一人一人の職員が心がけています。総勢約950名の職員が各々の担当分野において高い専門性を発揮し、連携しながら患者様、利用者様の個々のニーズに対応した医療を担っています。

2014年4月1日より、前任の峯廻名誉院長の後任として、私が院長に就任いたしました。当院の基本的な理念・姿勢は変わりませんが、時代と共に医療のニーズは変化します。求められる医療の内容と質を常に念頭に置きながら、より一層信頼いただける札幌西円山病院を築いていきたいと思っています。

2014年4月1日

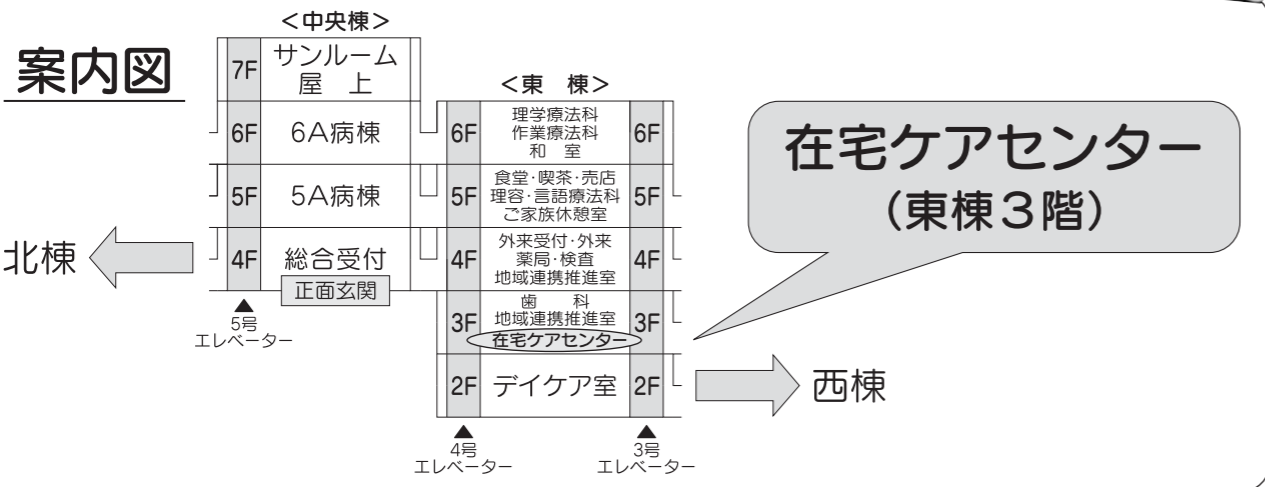
- 新院長あいさつ
- 介護保険関連(ケアセンター)
- ひな祭り
- 消火訓練
- ロビーコンサート
- 編集後記

* * 札幌西円山病院のご案内 * *

- 診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
- 病床数 854床(障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養型医療施設)

札幌西円山病院在宅ケアセンターのご案内

- * 保健師・看護師・社会福祉士・介護福祉士の基礎資格を持つ介護支援専門員（ケアマネジャー）が9名おります。
- * ご利用者様の病状やご事情に応じて介護保険サービスだけでなく、その他の社会資源（各種行政サービスやインフォーマルサービス等）も合わせて提案し、ご利用者様らしい生活が送れるように一緒にケアプランを作成していきます。
- * 退院後の療養生活やご自宅での介護に関するご相談は、ぜひお気軽にお問合せください。



対象となる方

- ◎ 中央区・西区にお住まいの方
- ◎ 要介護1～5の方
(若しくは要介護に該当の見込みのある方)



医療法人 溪仁会

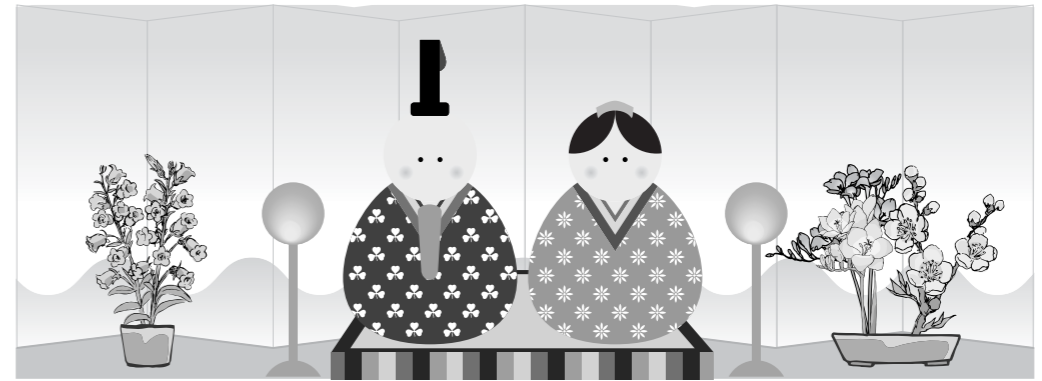
札幌西円山病院在宅ケアセンター

(札幌西円山病院東棟3階)

札幌市中央区円山西町4丁目7-25

TEL 011-642-5000 FAX 011-642-4128

ひな祭り

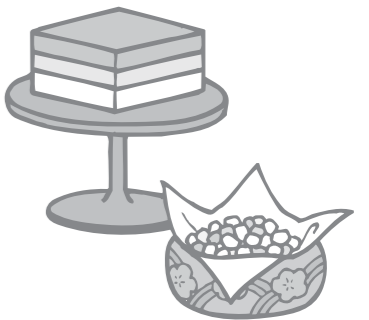


当院では療養される患者様・ご家族様に四季の変化を感じ、また季節ごとの行事を通して少しでも楽しい時間を過ごして頂きたいとの思いから、当院が開院した当初より毎年の恒例行事の1つとして3月3日の雛祭りに雛壇を飾っています。

雛祭りの2週間程前から桃やフリーズアなどの色とりどりの生花も飾り、患者様・ご家族様には「見る」だけでなく「香り」も楽しんで頂きました。

また、各病棟では甘酒などをお出しして、食を通して「味わう」ことも楽しんで頂いており、日頃、嚥下機能の低下から食事を召し上がることが困難な状態の患者様にも看護師や言語療法士が関わらせて頂くことで、食べることの楽しさを感じて頂いております。

患者様・ご家族様からは「自分が子供だった頃を思い出すわ。懐かしい」「綺麗ね、ありがとう」「美味しいね」などのお声を頂き、病院という限られた療養生活の中ではありますが、患者様・ご家族様に四季を感じて頂く事、楽しんで頂く事の大切さを私達職員もあらためて実感したひと時でした。



【患者家族交流会】

平成26年4月5日に患者家族交流会を開催し、124名の方にご参加いただきました。

浦院長から「生活習慣病との向き合い方」～健康年齢を維持するために～、峯廻名誉院長から「幸せのための医療とは」と題した講演を行なった後、利用満足度調査結果に基づき、各部門長からご家族様からのご意見やご質問に対する回答をさせていただきました。

講演会では、生活習慣病という身近なキーワードであったこともあり、時には笑いも起きるなど、和やかな雰囲気の中、講演が行われました。

